

事務事業評価シート(平成22年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
事務事業名		こども未来 課	越川昌信	藤本弘之
子育てふれあいセンター事業		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2	(節) 1	
	個別計画	(基本計画) 「子育てするならこの町」といえるまちをめざす		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町子育てふれあいセンター事業実施要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的的事业	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
多可町子育てふれあいセンター(中・加美・八千代)の施設管理、行政側からの運営支援を行う		補助金の支給		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
両親教育インストラクター、子育て指導員(嘱託職員)	センター利用者	家庭や地域の教育力を高め、心身ともに健全な子どもの育成を図る

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>		会計名	一般	会計
細目名	子育てふれあいセンター	細目名		
予算コード	款 3 項 2 目 4 大 1	予算コード	款 項 目 大 事業	予算コード

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度決算	22年度見込	23年度計画	備考 (全体事業費など)
総コスト		千円	12,871	12,008	12,012	
コストの内訳	直接事業費		1,161	1,142	1,022	
	所属内間接費		50			
	人件費	11,660	10,866	10,990		
投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.20	0.10	0.10	
			4.00	4.00	4.00	
財源内訳	国・県支出金	千円	4,173	3,700	3,700	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		18,998	8,306	8,312	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度実績	22年度予定	23年度目標
1	3センターの事務調整	子育てふれあいセンターを運営する	3センター事務調整会の開催	回	5	5
2	予算、決算の作成					
3						
4						
5						

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [子育てふれあいセンター事業]

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [子育てふれあいセンター事業]			備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 予定(見込)	23 年度 目標	
センター利用者数	人	12,616	11,731	12000	センター事業に参加した延べ人数

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)				担当の把握している課題	
チェック項目		該当項目に「○」					
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		把握なし	センターにより、利用者数のばらつきがかなりある。統合を検討する必要あり。
		緊急性は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない			
	利用者・対象者数は		<input type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 減少		横ばい	
	他市町と比較して対象者に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			把握なし	
町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある				
	国や県の事業(サービス)との重複は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある				
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
	他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			把握なし	
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
他の事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			あるが困難	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
		受益者負担を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			
		前年より成果が上がって	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	<input type="radio"/> 横ばい		
	持続の 可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない			
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	<input type="radio"/> 測定困難		
市場化の 可能性	既に全部委託済	<input type="radio"/> 更なる委託化が可能である	委託化の余地があり		委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある	市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性		1.改善の余地はない		<input type="radio"/> 2.改善の余地がややある			
		3.改善の余地が多い		4.抜本的な見直しが必要			

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>子育てふれあいセンター事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 各センターの立地などにより、利用者数にばらつきがある。投資が必要だが、やはり八千代子育てセンターのように、幼稚園・保育所に隣接している方が、利用しやすいと思われる。センター事業でグループ活動の活発化を目指すのは結構だが、利用者同士の性格不一致などで利用が困難になることもあり、それに気付き、どれだけ速やかな対応ができるかが、今後のセンターの将来を左右するといっても過言ではないと思われる。それには、最低現在の指導員の人数(4.5名)は必要だと思われる。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 未就園児への支援は、各園と連携しながらさらに充実させたい。現在のセンター方式については検証を図りたい。									
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価	3	
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) より効率的な方法をめざして内容等を見直しながら継続する。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
いろいろな人と出会う場となり、コミュニケーション能力を養う場となってほしい。 必要なことなので工夫をしながら進めていってほしい。									